ほうこん

題字・清水英夫

GALAC・11月号・付録
2012年11月6日発行(毎月1回6日発行)
昭和43年3月8日第三種郵便物許可
〒160-0022
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F
NPO法人放送批評懇談会
TEL (03)5379-5521/FAX (03)5379-5510
ホームページ <http://www.houkon.jp/>
Eメール kondankai@houkon.jp
編集・橋本隆

第50回上期ギャラクシー賞 各部門の受付開始

2012年9月24日、9月理事
会が開催された。

1. 委員会活動報告

◇出版事業委員会 飯田委員長

・11月号最終の校正作業中。表紙は山口智子さん、ザ・パーソンが倉内均さん。特集は「オリンピックとメディア2012」。

・12月号の特集は「世界のテレビ賞に挑む!」。毎日放送のラジオ番組「たね蒔きジャーナル」打ち切り問題も取り上げる。表紙は調整中。ザ・パーソンはプラットイーゾの新社長・和田かおりさんの予定。

◇選奨事業委員会 藤久委員長

〈テレビ委員会〉 丹羽委員長

・8月度の月評会を8月30日に開催した。また、9月6日締切りのテレビ部門のギャラクシー賞応募

作品数は104本で、10月25日に選考会を開催する予定。

〈ラジオ委員会〉桜井委員長が欠席のため文書提出。

・8月28日に8月度の合評会を開催した。山陽放送の「はまいえサタデー」白雲悠々と中国放送の「二文字弥太郎の週末ナチュラリスト 朝ナマ!」を取り上げた。
・9月20日に9月度の合評会を開催した。TBSラジオの「LINDDA」今夜はあなたをねらい撃ち!とTOKYO FMの「鷹の爪団の世界征服ラヂヲ」を取り上げた。

・第50回上期選考は新しい委員が入って初めての選考となるため、選考基準について話し合った。この選考基準をもとに、各部門さらに議論していく。

選考は10月23日にドラマ部門、報道・ドキュメンタリー部門を、29日にワイド部門、音楽・エンタテインメント部門を行う予定。

〈CM委員会〉 五井委員長

・CM部門は、8月23日、9月21日に定例会を開催した。今期から毎月定例会を開催しているが、毎回気になる3本のCMを持ち寄って討議している。

10月22日に定例会と上期選考会を開催する予定。

〈報道活動委員会〉 鈴木委員長

・11月3日に上期選考会を開催する予定。

・11月10日に「報道活動」を見て、制作者と語る会を日大で開催する。前回までは入賞受賞者全員に出席してもらっていたが、今回はテーマを設定するので、大賞、優秀賞、選奨の中から4人の受賞者に出席してもらおう予定。

◇企画事業委員会 確井委員長

委員会強化のため安斎茂樹さん、内田雄一さんを委員として追加したい。↓了承。

来月委員会を開催する予定。

◇マイベストTV賞プロジェクト

滝野プロジェクトリーダー

・8月度の投票と同時に旅番組の特別投票も行っている。

2. ギャラクシー賞改革小委員会答申について 小田桐常務理事

この議題に関し冒頭、嶋田理事から「前回7月の理事会はややヒステリックであった。1年かけて議論されここまでまとめられたものをこれから逐条的に議論するのは異常だと思う。運営方法などは理事会でやるべきでない。この理事会では答申を受け、改革小委員会は今日を持って解散し、新たに実行委員会を作った方が良く考える。この理事会で更なる議論をすることに「反対だ」との発言があった。

坂本理事から賛成の意の発言があった。

更に、上滝理事、藤久理事から、「先ず、答申は理事会として受け取る」「答申の進め方は各委員会でも更なる検討をして、それを理事会に諮るといった方法が適当だ」との発言があった。

そこで、専務理事より「この答申を理事会への答申として受領することとしたい」と提案があり、全員で

承認した。

その後、今期からの報道活動部門委員長の鈴木理事から、「自分は全く初めてなので自分が関わらなかった部分は発言する立場になかったので議論して欲しい」との発言があったが、新選奨事業委員長である藤久理事から「各委員会で多少事情が違うので、そういった点を考慮しながら丁寧に各委員会で検討したい」との意見表明があり、その方向で進める結論となった。

更に、この答申は、第50回ギャラクシー賞から対応することを前提に議論してきた経緯があるが、50期は既に応募要項を発送し、応募作品を受け付けている状況から、今期の選考に適用するのは止めて次回からとすることに決した。

今後の作業等は藤久選奨事業委員長に一任することに全理事賛成し決定した。

3. 「GALAC」についての問題提起 坂本理事

・坂本理事よりこれまで表紙の撮影をしてきた末武和人さんが引退する最後の撮影現場に編集長や副編集長が行かなかったのは大いに問題だろ

うという意見が出された。前編集長の丹羽理事より行けなかったのは事実だが、謝意の表し方は人それぞれであり、こちらの礼を尽くしているとの発言があった。

・昨年の「GALAC」での写真掲載ミスの際、編集長以下に責任感がないのではないかと指摘があった。稗田理事より編集長は当時の理事会で自分の責任を明確にしたし、「GALAC」でも謝罪しているとの発言があり、丹羽前編集長は謝罪の仕方も段階を踏んでいくもので、非常識だったとは思わないと答えた。

・グラビアは3ページずつだが、どうしてあのスタイルなのかと坂本理事より質問があり、飯田編集長からは早急に変える必要がなく、制作費に関することなので、変わらないことと答えがあった。

それに対して坂本理事から、もっと思いきって変えたほうがいいんじゃないかとの発言があったが、稗田理事からは編集長が決めればいいことだとの意見が出された。

また、飯田編集長よりとても安い原稿料などは心苦しいことである。

少しでも売り上げを上げるためにコンテンツを充実させていくことを考えているので、「GALAXY」への忌憚なきご意見をいただければと思いますと理事へのお願いがあった。

4. 50周年委員会報告 藤田委員長

50周年の事業に関して、理事や選奨委員会に協力をお願いしたい。50周年のイベントに何をやらべいいか、意見をいただきたい。

これに対して石井理事より、これまでの大賞受賞作品を上映して、ギャラクシー賞の当日は入賞作品の上映をやつてはどうか、滝野理事より上映施設がしっかりしたところがいい等の意見が出た。

また、嶋田理事からの特別賞は何人位かの問いに藤田委員長は、各部門で3〜4人推薦してほしいとの答えがあった。

藤田委員長から、何かイベント案が欲しいので、ご意見をお寄せくださいとの要望があった。また、この企画を実施するために入江たのし、永田俊和、堀木卓也、元橋圭哉の各氏を委員として追加したいとの提案あり。↓了承。

五井理事からの11月の理事会に案

を提出すればいいかとの問いに、藤田委員長は11月末までにもらつて、12月中に実施委員会で揉んで、12月から1月の理事会でこの人はどうでしょう、こういうイベントでどうでしょうと提案する予定と返答。

5. その他

①入会・退会

〈入会〉

・正会員 小西晴子さん 吉田敏江さん

・維持会員 ジェイ・スポーツ 囲碁将棋チャンネル ヒストリーチャンネル・ジャパン

〈退会〉 維持会員 朝日広告社

②定款変更(英語名変更) 認証の件

中島事務局長

総会で承認された定款の英語名変更を東京都に提出していたが、9月

10日付で認証書が届いた。

③トロフィーの件 橋本専務理事

次回、見本をお見せする予定。

④日韓中TV制作者フォーラム

今回の参加は飯田編集長と川喜田副編集長を予定していたが、川喜田氏の都合がつかず、橋本専務理事と飯田編集長が出席することとしたと報告。

次回以降の理事会

10月19日(金)

11月19日(月)

〔出席〕

音好宏、橋本隆、上滝徹也、小田桐誠、藤田真文、飯田みか、藤久ミネ、碓井広義、丹羽美之、五井千鶴子、鈴木嘉一、滝野俊一、石井彰、小林毅、坂本衛、嶋田親一、田中早苗、中町綾子、稗田政憲、中島好登

会議記録

〔8月〕

21日

23日

28日

30日

〔9月〕

18日

20日

21日

24日

出版編集委員会

(選奨) CM定例部会

(選奨) ラジオ定例部会

(選奨) テレビ月評会

出版編集委員会

(選奨) ラジオ定例部会

(選奨) CM定例部会

理事会

テレビとネットの競争と連携

田川義博

正会員には、テレビ・ラジオの仕事に携わっている、または携わっていた方々が多いと想像しています。

この想像が正しいとすれば、私の経歴はまったく異なっています。これまで、通信分野の実務、情報通信・放送の調査研究を行ってきました。

現在は情報セキュリティ大学院大学セキュアシステム研究所の客員研究員として、この分野の研究活動を行なっています。

また大学・大学院の非常勤講師として「情報と法」、「リスクコミュニケーション論」、「情報セキュリティ法制度」、「メディア政策論」、「コミュニケーション論」の授業を行なっています。

通信・放送融合については、この10数年考えてきました。デジタル革命によってコンテンツ・情報と伝送路・インフラの組み合わせが自由になったことで、この融合が可能になりました。

文化・社会的側面と産業的側面の両面からこの進展を捉えていきたいと考えています。

新入正会員自己紹介

30代世代ならではの貢献をしたい

高野美穂

就職活動時、「雑誌かTV番組を作りたい」と考え業界選択を迷い、結果、教育系出版社であるベネッセコーポレーションに就職。雑誌づくりの基礎と情報へのアンテナの持ち方、そしてそれを取りまとめる技術と楽しさを教えて頂きました。

同社を退社しフリー編集者として独立をする際、「そういえば、TVの仕事もやってみたかったのだった」と学生時代のことを思い返し、「縁あって受けてみたJ・COM西東京「四季食彩」という番組のオーディションでリポーターとして起用頂くことに。以後、日経CNBC等の経済番組や、体当たり系の旅番組、コミュニティFMのパーソナリティ、また、放送作家やナレーション読みなど、紙媒体とはまた少し違う情報発信の楽しさを体験させて頂きました。

「GALAC」の編集委員の一人として活動できることを大変光栄に思います。世代なりの意見を忌憚なくネットワークをフル活用し、相乗効果を生んでいきたいです。

公開シンポジウム 第5回「ギャラクシー賞受賞「報道活動」を見て、制作者と語る会」

- 日時 2012年11月10日(土) 午後1時～5時(開場午後0時半)
- 場所 日本大学芸術学部 江古田キャンパス 東棟1階 E102教室
- 主催 NPO法人放送批評懇談会ギャラクシー賞報道活動部門委員会
- 後援 日本大学芸術学部放送学科 ■ 入場無料 (定員100人) 事前の申し込みは必要ありません

【上映作品と参加放送局】

- 〈大賞〉 絆いわて「ふるさとは負けない!」キャンペーン(IBC岩手放送)
 - 〈優秀賞〉 市営散弾銃射撃場鉛汚染問題における一連の報道(伊万里ケーブルテレビジョン)
 - 〈優秀賞〉 オムニバス・ドキュメンタリー「3・11大震災 記者たちの眼差し」Ⅰ～Ⅳ(TBSテレビ)
 - 〈選奨〉 NNNドキュメント'11～'12「3・11大震災シリーズ」における計31本の番組制作と一連の報道活動(日本テレビ)
- 総合司会は報道活動部門委員長鈴木嘉一、シンポジウムの司会は前報道活動部門委員長の確井広義が担当します。

【会場へのアクセス】

最寄り駅 西武池袋線 江古田駅(池袋駅から各駅停車で三つ目、6分)北口から徒歩3分

【問い合わせ】 放送批評懇談会 03-5379-5521(平日午前10時～午後1時、午後2時～6時)